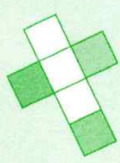
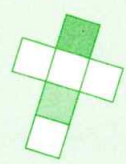
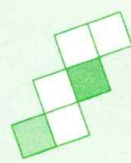
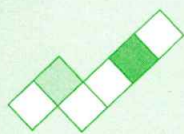
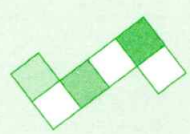


音	楽				
vol.4	た	ま	て	箱	



2002年4月7日(日)  
**神奈川県立音楽堂**  
**木のホール**

主催：オフィス虎丸  
 共催：TOMATOフィルハーモニー管弦楽団  
 後援：神奈川新聞社・横浜音楽協会  
 神中・神高・希望ヶ丘高同窓会・(財)桜蔭会





# オール・シューマン・プログラム

シューマン Robert Schumann (1810~1856)

劇音楽「マンフレッド」序曲 作品115 (1852)

ピアノ協奏曲 イ短調 作品54 (1846) 独奏：碓井俊樹

- 第1楽章 アレグロ・アフエットウオーソ
- 第2楽章 インテルメッツォ(間奏曲)  
アンダンティーノ・グラツィオーソ
- 第3楽章 アレグロ・ヴィヴァーチェ

..... 休憩(15分) .....

交響曲第1番 変口長調「春」作品38 (1841)

- 第1楽章 アンダンテ・ウン・ポーコ・マエストーソ  
アレグロ・モルト・ヴィヴァーチェ (春のはじめ)
- 第2楽章 ラルゲット (たそがれ)
- 第3楽章 スケルツォ、モルト・ヴィヴァーチェ (楽しい遊び)
- 第4楽章 アレグロ・アニマーテ・エ・グラツィオーソ  
(春たけなわ)

## オーケストラメンバー

コンサートミストレス 佐々木絵理子  
ヴァイオリン 高木聡、飯村真理、磯田ひろみ、入江茜、漆原直美、清岡優子、坂田佳奈子、高山紗絵子、廣海史帆、福島寛子、宮崎桃子、本橋はる子  
ヴィオラ 西村知佳子、神田藍、斎藤麻衣、藤原歌花、山本法子  
チェロ 槇岡絵里香、関根優子、多井智紀、原口梓、山本徹  
コントラバス 北村一平、菅野紗綾、田所智子  
フルート 北川森央、池邊昇平  
オーボエ 宮村和宏、永塚千賀子  
クラリネット 濱崎由紀、三木薫  
ファゴット 岩佐雅美、黒木綾子  
ホルン 友田雅美、武井早紀、大野昇平、大槻香奈絵  
トランペット 佐藤秀徳、松居洋輔、高見信行  
トロンボーン 加藤直明、暮林直樹、香川慎二  
ティンパニ 野本洋介  
打楽器 境祥子

インスペクター 北川森央  
ステージ・マネージャー 本野圭二(プランニングオフィスネイチャ)、雨海秀和  
調律 渡辺幹雄(ピアノテクノワタナベ)

本日はようこそお越し下さいました。シューマンの音楽の世界を存分にお楽しみ頂けたら幸いに思います。「オール・シューマン・プログラム」といいますと、とかく「地味、暗い」ような印象を持たれるかも知れません。しかし、本日演奏致します3曲を通してまた違った印象を持って頂けると嬉しく思います。

## 曲目解説

### ●「マンフレッド」序曲

シューマンは作曲家であると同時に有名な評論家でもありました。それは若き頃、「詩人」を志していたことと関係があるのでしょうか。少年時代からゲーテ、シラー、ジャン・パウルの熱中、ハイネに会ったりもしています。大学では法学部に入りましたが、実際は詩的な側面を追い続けることになったのです（もちろん音楽にも熱中していました）。

さて、この曲ですが、題材となっている「マンフレッド」はバイロンの劇詩によるものです。人生に悩み続けているロマン的人間、マンフレッドを主題にしたものなのですが、シューマンの性格と似ていたのでしょうか、彼は深い共感をおぼえたといわれます。シューマンも「法律か芸術か」「文学か音楽か」「交響曲かピアノか」「詩的音楽か名人芸か」・・・いつも悩んでいたことでしょう。そんなシューマンが感じたマンフレッドの姿が表現されています。

### ●ピアノ協奏曲

この春、フランス・オーストリア・イタリアを旅した折、私はウィーンでこの曲の自筆スコア（コピー）を手に入れました。それを眺めていますと、シューマンの作曲の過程が手に取るように分かってきます。本当の音がどれだか分からなくなるほど何回も書き直されている箇所が多いのですが、この曲は unnecessary な音を極力削ぎ落とす方向性で作曲されたようです。

シューマン自身ピアニストを志したのでしょう、ヴィーク先生に入門した（20歳）のですが、指を強くするつもりで無理な機械仕掛けを考案して、結局指を損ねてしまった（22歳）のです。この挫折は「ピアノ」に対して特別な感情を生んだものと思われまます。彼が生涯に作った「ピアノ協奏曲」はこの1曲だけです。初演はヴィークの娘でシューマンの妻となったクララがピアノを弾きました。

### ●交響曲第1番「春」

「冬が来たならば春の遠いことがあろうか」（シェリー）

シューマンの人生においての春、クララとの結婚に至る道のりは大変なものでありました。父親ヴィークの反対があり、数年にわたって激しい応酬があったのです。それは裁判沙汰になるほどでした。しかし、クララの母の援助、リストをはじめとする証人たちの証言などがあり、法廷もヴィークの個人攻撃を却下、ついに結婚の許可が下りたのです！長い厳しい冬ののちに、ようやく実現したクララとの結婚。シューマンは嬉しくて仕方がありません。リュッケルトの詩集「愛の春」に妻と共同で曲をつけるという幸せな仕事を経て、いよいよこの「春」の交響曲が作曲されたのです。

「変えよ、おんみのめぐりを変えよ/谷間には春が、萌え出ている！」（アドルフ・ベッダガー）この一句から受けたインスピレーションをもとに作曲され、スケッチはわずか4日間で完成しています。

春雷、春の到来、哀愁、戯れ、爛漫、、、春一番!!

————— 山田 和樹

## 解説 奥田佳道（おくだ よしみち）

音楽ジャーナリスト。

1962年東京生まれ。ヴァイオリンを学ぶ。

ドイツ文学、宗教音楽史を専攻後、ウィーン、イタリアに留学。

著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」（音楽之友社）、共著に「オペラ・ガイド123選」（成美堂出版）、「音楽と美術の旅オーストリア」「指揮者のすべて」「協奏曲スーパーガイド」（以上音楽之友社）ほか多数。

現在「音楽の友」「モーストリー・クラシック」などに執筆。NHKFM「N響定期公演生中継」、日本テレビ「深夜の音楽会」、WOWOW「クラシック・スペシャル」などに出演中。



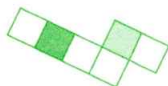


## 指揮 山田和樹

1979年、神奈川県秦野市生まれ。幼少の頃より木下式音感教育を受け、ソルフェージュ・ピアノ・音楽を学び、中学生の頃より児童合唱団の指揮をする。1994年、神奈川県立希望ヶ丘高校入学、吹奏楽部において学生指揮者を務める。2年生の終わりにプロ・オーケストラを指揮したのを機に、指揮者を志す。

1997年、東京芸術大学指揮科に入学。指揮法を松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。安宅賞受賞。これまでにプロ・オーケストラでの公演や、横浜国立大学管弦楽団・茅ヶ崎交響楽団など数多くのアマチュア・オーケストラを指揮するほか、オペラ・合唱の分野でも活躍する。昨年11月にはTOMATOフィルを率いて柳原音楽祭に参加、絶賛を受ける。弱冠22歳にしてベートーヴェン交響曲全曲演奏という快挙を成し遂げるほか、自らプロデュースする演奏会も数多く精力的に活動している。

今後の活躍が期待される指揮者の一人である。



## 管弦楽 TOMATOフィルハーモニー管弦楽団

1998年春、指揮者山田和樹氏を中心として、東京芸術大学在学中の若手演奏家が集まり「ヤマカズオケ」を結成。学内での数回の演奏会を経て、同年冬「ヤマカズオケ」を母体に「高感度のアンサンブル、より有機的な音楽」を目指して「TOMATOフィルハーモニー管弦楽団」を誕生させ、「聴いて感動、観て感動、演奏して感動」のオーケストラ作りに努めている。

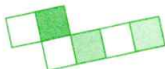


創立当初より一貫して、ベートーヴェン交響曲全曲演奏に挑戦。昨年2月の武蔵野合唱団との合同演奏会「第九&1812年」をもって全曲演奏を達成、好評を博した。

また2000年3月「中野富雄・中野真理フルート名曲コンサート—華麗なる饗宴—」に出演、2001年10月「下田コールフロイデ・創立20周年記念演奏会」に招聘、同年11月「第9回柳原音楽祭」に出演するなど、多彩な活動を繰り広げている。

「音楽たまたま箱」には、第2回より連続して出演。

各方面から今後の活動が大いに注目されているオーケストラである。



## ピアノ独奏 碓井俊樹

1977年生まれ。

東京芸術大学附属高等学校を経て同大学に進む。

在学中、1999年から2001年までザルツブルグ・モーツァルテウム芸術大学に留学し、現在、東京芸術大学器楽科6年在学中。

武田宏子、岩崎淑、植田克己、アボ・クユムジャン、カール・ハインツ・ケマリク氏に師事。

ソロリサイタルをはじめ、芸大オーケストラ、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、東京フィルハーモニー管弦楽団など、多くのオーケストラ、室内楽と共演。国内外で幅広く活動している。

次回



音楽

出演：TOMATOフィルハーモニー管弦楽団  
指揮：山田和樹

vol.5

たまたま箱

2002年秋公演予定  
神奈川県立音楽堂・木のホール

## オフィス虎丸(株式会社 太郎吉)

コンサート、演劇、芸能など、あらゆる舞台、催しのプロデュース、お手伝いをいたします。

お気軽に、お問い合わせ、ご相談ください。

近日、江ノ島・海一望、浮遊空間 虎丸座オープン！

ホームページのアドレスは <http://www.toramaru.net>  
<http://www.toramaru.net/toraza>